

令和7年度「全国学力・学習状況調査」における神屋小学校の結果について

1 結果概要

平均正答率	国語	算数	理科
神屋小学校	58.0%	47.0%	55.0%
愛知県	65.0%	58.0%	56.0%
全国	66.8%	58.0%	57.1%

1. 各教科の状況と分析・考察

(1) 国語

【良い点】

- 基礎的な知識・技能の定着度が高いです。特に、漢字の書き直し問題「あつい日」(2四ア)では、正答率が92.9%と、全国の81.6%や愛知県の79.1%を大きく上回りました。これは、基本的な語彙や漢字の知識がしっかりと習得されていることを示しています。

【課題点】

- 「思考力、判断力、表現力等」の領域に大きな課題があります。この領域の平均正答率は53.2%で、全国(63.8%)や愛知県(62.3%)の平均を大きく下回っています。具体的には、資料から必要な情報を見つけ出し、メモの空欄を埋める問題(3二(2))では正答率が25.0%と、全国や愛知県の約半数に留まりました。また、複数の資料を根拠に自分の考えをまとめて記述する問題(3三(1))においても、正答率が21.4%と、全国や愛知県の約半分の水準でした。これらの問題は、情報を読み解き、整理し、論理的に表現する能力が問われるものです。

(2) 算数

【良い点】

- 基礎的な情報活用力は高いと言えます。簡単な二次元の表から条件に合った項目を選ぶ問題(3(4))や、示された資料から必要な情報を選び計算式と答えを書く問題(4(1))では、それぞれ85.7%と愛知県・全国平均を上回る正答率を示しました。

【課題点】

- 「思考・判断・表現」の正答率が37.2%と、全国(48.3%)や愛知県(49.7%)の平均を大きく下回っています。
- 記述式問題に弱点が見られます。
- 分数の概念理解と記述表現力：「 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と、それらが共通する単位分数の幾つ分になるかを書く」問題(3(3))の正答率が3.6%と非常に低く、分数の深い理解と記述による表現に課題があります。
- 図形問題の解決と論理的説明：「五角形を二つの図形に分割し、それぞれの面積の求め方を書く」問題(3(2))が7.1%、「適切なグラフを選び出荷量の増減を判断し、そのわけを書く」問題(4(4))が14.3%と、複雑な問題解決とその過程の論理的な説明に大きな弱点が見られます。

(3) 理科

【良い点】

- ・「知識・技能」の平均正答率(57.1%)が県・全国平均より高く、基礎的な知識・技能の定着が見られます。
- ・問2(3)や問3(1)など、一部の個別問題では県・全国平均を大きく超える高い正答率を記録しています。

【課題点】

- ・「思考・判断・表現」の平均正答率(53.2%)が県・全国平均を下回っています。
- ・特に「記述式」問題の正答率が33.9%と、県(40.6%)・全国(45.2%)と比較して低い点が課題です。問1(2)や問4(1)など、正答率が低い個別問題も見られました。

2. 児童質問紙調査の結果と今後の取り組み

【良い点】

- ・規則正しい生活習慣：毎日同じ時刻に寝起きする児童が平均を大幅に上回っています（特に就寝時刻は顕著に高い）。
- ・良好な学校生活と教師関係：「学校に行くのが楽しい」と感じる児童が多く、先生が「自分の良い点を認めてくれる」割合も高いです。また、授業が「自分に合った教え方」だと感じる児童も多いです。
- ・理科への強み：理科の勉強は「得意」「好き」「授業内容の理解度」全てにおいて平均を大きく上回っています。

【課題点】

- ・国語・算数における「得意」と「好き」の乖離：国語は「得意」が高い反面「好き」が平均より大幅に低く、算数も「得意」は高いが「好き」は低い傾向にあります。
- ・読書意欲の低さ：「読書が好き」な児童の割合は、平均よりも低いです。

【今後の取り組み】

- ・「思考力、判断力、表現力等」の強化：国語では、単に知識を習得するだけでなく、得た知識を活用し、多角的に思考し、表現する機会を増やします。算数では、問題を解く過程や理由を言葉や式で説明させる演習を重視し、論理的な思考力を育みます。
- ・記述式問題に特化した思考・表現練習を強化することで、総合的な学力向上を目指します。
- ・主体的な学習態度の育成：記述式問題で粘り強く考える機会を増やし、思考のプロセス自体を評価することで、困難な問題にも諦めずに挑戦する姿勢を養います。
- ・主体性の育成：「分からないことを自分で工夫して学ぶ」機会を積極的に設け、探求的・問題解決型の学習を通じて主体性を育みます。教師は児童の試行錯誤を支援する役割を重視します。
- ・読書活動の推進：読書に親しむ機会を増やし、読書意欲の向上に努めます。

【まとめ】

基礎的な知識・技能はしっかりと身につけているものの、その知識を活用して思考し、判断し、表現する力に課題があることが明らかになりました。特に、記述式の問題への対応力や、主体的に学習に取り組む姿勢の育成が急務であると考えております。

学校としましては、これらの課題に対し、日々の授業改善はもちろんのこと、児童一人ひとりが「わかった!」「できた!」という喜びを感じながら、粘り強く主体的に学ぶ力を育めるよう、様々な教育活動を工夫してまいります。保護者の皆様におかれましても、引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。